

岩手県教育委員会教育長 佐藤博 様
教育委員 各位

2021年5月21日
日本共産党岩手県議団
齊藤 信
高田 一郎
千田美津子

高校再編後期計画（最終案）について、慎重な検討と見直しを求める申し入れ

高校再編計画後期計画（最終案）について、昨年度内の策定を行わず、地域の要望にこたえて地域説明会を開催したことに敬意を表します。

4～5月に4地域で開かれた説明会では、行政の代表や住民から検討すべき意見が多数出されました。これまでの県議会での議論も踏まえ、地域から提起された意見、質問について慎重に検討を深め、以下の点で見直しを含めて対応されることを申し入れます。

記

1、福岡工業高校と一戸高校の統合については新年度の入学者の実績を踏まえて見直し、県北唯一の工業高校として福岡工業高校の単独存続を図ること

- 1) 福岡工業高校の生徒は昨年度、資格取得で特別表彰をはじめ多数のジュニアマイスター顕彰者を出すなど全国トップクラスの実績をあげるとともに、新年度には57人の入学者を迎えています。こうした努力と実績を正しく評価し、福岡工業高校の学科減を見直し、県北唯一の工業高校として単独で維持すべきです。
- 2) 県北振興は県政の重点課題であり、達増知事の公約でもあります。県北振興と人材育成の立場からも県北唯一の工業高校として2学科を維持し存続させるべきです。
- 3) 総合学科制の一戸高校と学科減による福岡工業高校との統合は、工業高校としての専門教育と資格取得の取り組みにも困難をもたらすものであり、見直すこと。
- 4) 福岡工業高校の新校舎（26.6億円）は県産木材を活用した最新鋭の設備が整備された校舎です。統廃合の対象とすること自身ちぐはぐなものです。校舎制による統合もあいまいな内容で生徒と教職員に負担を増やすもので合理的なものではありません。
- 5) 地域説明会では二戸市教育長、二戸市副市長が行政を代表して福岡工業高校の実績と役割を強調し、2学科の維持と単独の存続を強く求めました。福岡工業高校の単独存続を求めた二戸市議会の意見書を含め、当該自治体、市議会の強い意向を無視することなく尊重すべきです。

2、盛岡南高校と不来方高校の統合計画の課題と問題点を検証し、統合計画を見直すこと

- 1) 人口・世帯・生徒数が増加している盛岡盛南地区・矢巾地区の二つの高校の統合は、地域の生徒の進路選択に大きな影響を与えるものとなることを受け止め、見直すこと。
- 2) 盛岡南高校、不来方高校とも特色のある高校として盛岡ブロック内外から進学者が多く、スポ

ーツではライバルとして切磋琢磨している高校です。こうした良さをさらに発揮させることこそ高校改革の方向です。

- 3) 盛岡周辺校の高校存続は重要な課題ですが、盛岡南高校と不来方高校の統合によって解決されるものではありません。また、盛岡一極集中の解決となる具体的な根拠も示されていません。
- 4) 県内で地域に必要な高校を、1 学級規模でも存続を図ることは重要ですが、一方で 7 学級、8 学級規模の大規模校をつくることは、「今後の高等学校教育の基本方向」（2015 年 4 月 20 日）を逸脱するもので、これ自身の慎重な検討が必要です。
- 5) 盛岡市は 4 度にわたって市長と教育長連名の要望書を提出するとともに、盛岡市議会は統合計画の白紙撤回を求める意見書を提出しています。行政と市議会の要望書と意見書に誠実に対応すべきです。

3、一関工業高校と水沢工業高校とのブロックを越えた統合計画に対し、地域の疑問と不安に丁寧に答えること

- 1) ブロックを越えた統合計画に対し、通学の便や進路選択に与える影響に対する対応策を示すこと。統合する場合の設置場所の考え方を示すこと。
- 2) 地域の企業との連携と人材育成の方向を具体的に示すこと。
- 3) ブロックを越えた統合について、統合計画を急いで決めることなく、その必要性を丁寧に説明し大方の理解を得る努力を継続すること。

4、宮古商工高校と宮古水産高校の同一校地内での集約を再検討すること

- 1) 宮古商工高校と宮古水産高校の統合は見直されましたが、同一校地内に集約し、両校の施設の共用化を図るとされました。同一校地内での集約は物理的に困難と思われます。
- 2) 宮古商工高校の校舎制の解消を図ること。
- 3) 宮古水産高校については現在地での改築整備が現実的です。

5、統合計画のないブロックについても生徒減少を踏まえた学級減について検討すること

- 1) 高校再編後期計画（最終案）は、生徒減少を最大の理由に大規模な統合計画を提起している一方で、統合計画のないブロックは生徒減少が進行するものの学級減の計画も示されていません。全体の合理性のない計画案となっています。
- 2) 各ブロック全体の整合性のある高校再編計画とすること。統合計画だけでなく学級減を含めた計画を検討すること。

以上